

## 「皮膚真菌症」の話

「水虫」「いんきんたむし」「ぜにたむし」「しらくも」・・・

いわゆる「カビ、酵母、キノコ」も真菌に含まれます。ヒトに対して病原性を持つ真菌により真菌感染症（真菌症）が生じます。真菌感染症のうちで、主に皮膚に病巣があるものが、「皮膚真菌症」と呼ばれます。

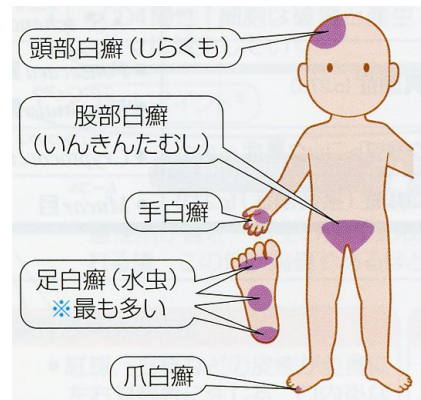
「表在性」皮膚真菌症と「深在性」皮膚真菌症に分けられます。

| 分類  | 主な真菌症                     | 原因真菌  |
|---|---------------------------|---|
| 表在性皮膚真菌症<br>表皮、毛包、毛髪、爪、口腔や外陰部などの粘膜に感染したもの | 白癬                        | トリコフィトン<br>• <i>Trichophyton</i> 属<br>• <i>Microsporum</i> 属<br>• <i>Epidermophyton</i> 属 |
|   | 皮膚・粘膜カンジダ症                | カンジダ<br>• <i>Candida</i> 属<br>• <i>C. albicans</i><br>• <i>C. albicans</i> など             |
|   | マラセチア感染症<br>(癬風、マラセチア毛包炎) | マラセチア<br>• <i>Malassezia</i> 属<br>• <i>M. globosa</i>                                     |
| 深在性皮膚真菌症<br>真皮より深部へ感染したもの                 | 黒癬                        | ホルタエア<br>• <i>Hortaea werneckii</i>   |
|   | スポロトリコーシス                 | スポロトリクス<br>• <i>Sporothrix</i> 属<br>• <i>S. globosa</i><br>• <i>S. schenckii</i>          |
|   | 黒色真菌症                     | ファンセカエア<br>• <i>Ponsecaea</i> 属<br>• <i>Exophiala</i> 属                                   |
|   | 皮膚クリプトコックス症               | クリプトコックス<br>• <i>Cryptococcus</i> 属   |
|   | ムーコル症 (接合菌症)              | ムーコル<br>• <i>Mucor</i> 目  |

### 白癬

皮膚糸状菌（主に白癬菌属）による感染症です。皮膚糸状菌はケラチンを栄養源とするために、ケラチンの豊富な皮膚角層、爪、毛に感染します。感染部位により「足白癬」、「爪白癬」、「手白癬」、「体部白癬」（＜ぜにたむし＞）、「股部白癬」（＜いんきんたむし＞）、「頭部白癬」（＜しらくも＞）といった病型に分類されます。

| 病変の深さ                           | 感染部位      | 病型      |                                       |
|---------------------------------|-----------|---------|---------------------------------------|
| (浅在性)白癬<br>菌の感染が角層や爪、毛に局限するもの   | 皮膚角層      | 手       | 手白癬                                   |
|                                 |           | 足       | 足白癬(水虫)                               |
|                                 |           | 体部      | 体部白癬(ぜにたむし)                           |
|                                 |           | 股部      | 股部白癬(いんきんたむし)                         |
| 炎症性白癬<br>浅在性白癬の炎症が真皮(毛包)まで及んだもの | 毛         | 毛髪      | 頭部白癬(しらくも)<br>ケルスス とうきょう<br>Celsus 禿瘡 |
|                                 |           | 髭部      | 白癬菌性毛瘡                                |
| 深在性白癬<br>真皮や皮下組織に感染したもの         | 真皮・皮下脂肪組織 | 白癬菌性肉芽腫 |                                       |

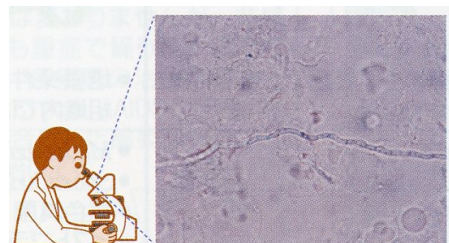
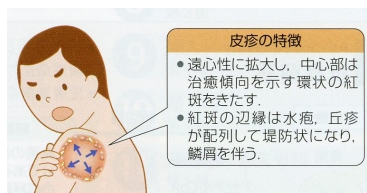


### 股部白癬、体部白癬

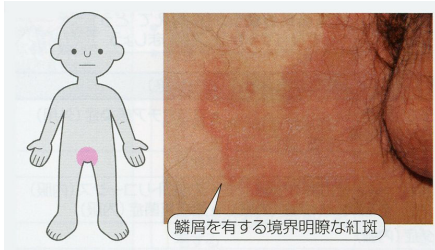
いわゆる「いんきんたむし（股部白癬）」、「ぜにたむし（体部白癬）」

外陰部とその周囲の皮膚（股部白癬）や、それ以外の生毛部（うぶ毛が生じる部分）にも発生します。

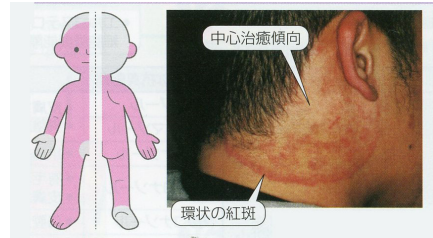
強いかゆみを伴う境界の明瞭な環状の紅斑をきたします。中心治癒傾向が認められる傾向があり、「カンジダ症」との鑑別点とされます。（図右）



図(上) : 白癬の確定診断には、病変部(鱗屑、爪、毛髪など)からの組織を採取し水酸化カリウム(KOH)で角層を溶解後に顕微鏡で観察し診断されます。隔壁を持つ糸状の菌糸が認められます。



図(左)：股部白癬  
 青年の男子に好発します。



図(右)：体部白癬

### 足白癬：いわゆる「水虫」

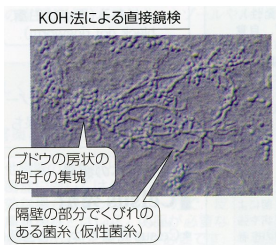
「白癬」の半分以上を占める最も多い病型です。症状により趾間型、小水疱型（汗疱型）、角化型（角質増殖型）の3つの病型に分類されます。（図右）

爪白癬を合併することもあります。

### カンジダ症（図右下）

口腔、消化管、膣などの粘膜や、腋窩、陰股部などの間擦部に常在するカンジダ属の真菌（図下）が、内因性感染を起こし発症します。

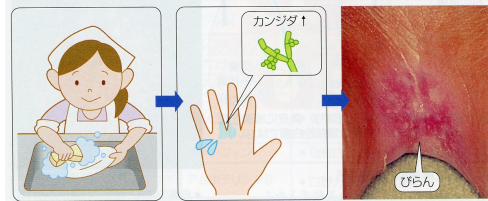
|    | 趾間型  | 小水疱型(汗疱型)                                     | 角化型(角質増殖型)  |
|----|--|---|---|
| 好発 | ●第4趾間(第4趾と第5趾の間)に好発する。<br>●温暖な季節に起こりやすい。                               | ●土踏まず、足趾基部、足側縁に好発する。<br>●温暖な季節に起こりやすい。        | ●足底(特に踵部)に好発する。<br>●かなりまれ。  |
| 症状 | ●趾間に限局して紅斑、小水疱をきたし、鱗屑を形成する。<br>●痒痒を伴う。<br>●汗などで白く浸軟し、掻破によりびらんとなることもある。 | ●小水疱、小膿疱が多発し、乾燥して鱗屑を形成する。<br>●水疱の出現時に強い痒痒がある。 | ●足底全体に過角化(角層の肥厚)を認め、鱗屑を伴う。<br>●痒痒はほとんど認めない。<br>●踵部に亀裂を形成し、疼痛を伴うことがある。 |
| 所見 | 趾間に鱗屑を認める。   | 足底に小水疱の集簇を認める。                                | 足底全体に角層の肥厚を認める。   |



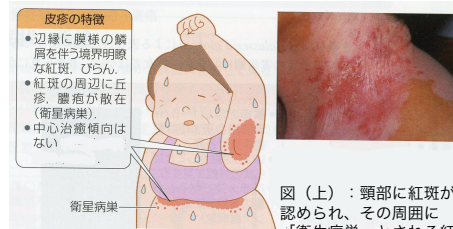
| 分類      | 疾患           | 部位                   |
|---------|--------------|----------------------|
| 皮膚カンジダ症 | カンジダ性指趾間びらん症 | 指間、趾間                |
|         | カンジダ性間擦疹     | 間擦部(腋窩、乳房下、陰股部、肛門など) |
|         | 乳児寄生菌性紅斑     | 肛門、陰股部、背部            |
|         | カンジダ性爪囲・爪炎   | 爪周囲                  |
|         | 爪カンジダ症       | 爪実質                  |
| 粘膜カンジダ症 | 慢性皮膚粘膜カンジダ症  | 皮膚、口腔粘膜、爪            |
|         | 口腔カンジダ症      | 口腔粘膜、舌               |
|         | 外陰腔カンジダ症     | 外陰部                  |

**カンジダ性指趾間びらん症**（図右）：湿った指趾間に発症します。水仕事に従事するヒトや主婦に好発します。

皮疹の特徴は、白く浸軟した鱗屑を伴う紅斑が生じ、中央に「びらん」が形成されます。

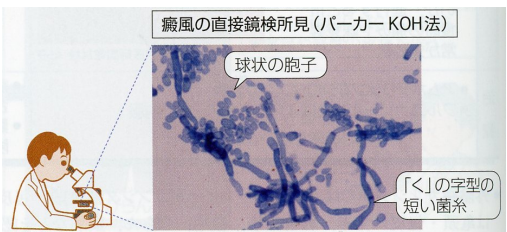


**カンジダ性間擦疹**（図右）：間擦部、すなわち腋窩、乳房下、陰股部、肛門などに発生します。皮膚・粘膜カンジダ症の半数を占めます。夏季に発生しやすく、多汗症、肥満者、長期臥床者に好発します。乳児に発症したものは「乳児寄生菌性紅斑」と言われます。

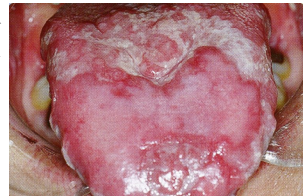


**粘膜カンジダ症**：「口腔カンジダ症（図右下）」「外陰腔カンジダ症」が代表的です。

### マラチア感染症：マラセチア属は、毛包に常在する真菌です。高温、発汗、皮脂の分泌過剰などの誘因で過剰に増殖すると「癬風（でんぼう）」「マラセチア毛包炎」を引き起こします。



図(左)は、「癬風」の顕微鏡による診断です。診断に適した「パーカーインキ・KOH法」（水酸化カリウムで角質層を水解しパーカーインキによる菌要素の染色を同時に行う方法）で特徴的な所見が観察されます。



図は、「病気が見える vol.14 皮膚科」<MEDIC MEDIA>、資料<オラビ錠口腔用>@富士フィルム から引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諒亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4（御国通り2丁目）  
 電話：0745-65-2631